

○ 活動プログラム (予定)

No	プログラム項目	内 容	SDGs 目標
1	SDGs ガイダンス	「SDGs とは何か」をパネル・映像等によりわかりやすく提示・共有するとともに、参加者の認識や理解を探る。また、「こども絵画コンクール」入賞作品を紹介し、活動意欲を高める。	 2030年に向けて 世界が合意した 「持続可能な開発目標」です
2	自然体験・生態系学習 (ネイチャーゲーム等)	施設及び農業大学校構内の自然(樹木・草花、水辺、動植物等)を観察・体感する中で、自然環境や生態系の保全への理解と行動を促す。また、活動の拠点として、テント設営等の実地体験を行い、災害時に備えた防災意識・対応力を涵養する。	
3	自然散策、スポGOMI、自然燃料収集	施設の外周道路を含め自然散策を行いながら、落ちているごみ拾いを通じた体力づくり(スポGOMI)、野外炊飯に使用する自然燃料資源の収集作業に取り組む。	  
4	GOMI 調査、海・川ごみを考える	収集した GOMI を仕分け調査し、現状分析を行うとともに、県内で発生している海・川ごみ等の実物を併せて検証し、その原因や対応策について考える。	  
5	自然資源活用による調理実践等	火起こし・調理・野外炊飯の実践を通じて、自然の恵み・重要性への理解を育む。併せて、環境対応自動車(PHV または FCV)の仕組み等の学習や給電実演の体験を通じて、地球温暖化問題と災害時対応について考える。	  
6	SDGs 対応食事の実践	地産地消の素材の活用、ノンプラスチック製品の使用、素材を全て使った調理によるノー食品ロスなど、自然共生・環境対応の食事を実践する。	  
7	キャンプファイヤー等共同作業等	参加者の役割分担の下に、キャンプファイヤーの準備から片づけまで、また「SDGs」等の火文字づくりなど、パートナーシップによる取組を実践する。	
8	振り返り：SDGs を考える	第1日の活動を踏まえて、参加者が振り返り、気づきや考えたこと、第2日への思い等を交換、確認しあう。	 
9	高齢者スポーツ体験等の運動時間	リフレッシュ運動として、高齢者や障がいのある人も楽しめるポッチャ等のニュースポーツ※1を体験、SDGs の理念「誰一人取り残さない」等への理解を深める。併せて使用済資源を活用したゲーム※2も実施する。 (※1 他に、ディスクゲッターナイン、スナックゴルフ等 ※2 「新聞で遊ぼう!」等)	 
10	自然資源活用によるクラフトづくり	自然資源を生かした「檜の板葉書や木笛」、「木の枝ボールペン」など、創意工夫によるクラフトづくりを通じ、自然の恵みへの理解を深める。	 

No	プログラム項目	内 容	SDGs 目標
11	資源の再生利用による調理実践	使用済み段ボールによる窯づくりと、自然燃料資源を使った地産地消食材によるピザ焼き体験を行う。	  
12	振り返り：SDGs 取組宣言	活動終了に際し、参加者が振り返り、気づきや考えたこと等を交換、確認しあい、今後への思いや取組、目標の宣言を行う。	 
予備プログラム	地産地消・農業収穫体験	隣接する愛知県立農業大学校における愛知の伝統野菜等の収穫体験と野外炊飯	
	身近な資源の再利用による観察	牛乳パックを使った手作りカメラ(日光写真)による自然・風景の観察撮影	 
	当財団固有の廃材利用によるクラフト	当財団管理の愛知県総合射撃場で廃棄物となる①クレイピジョンを使った SDGs サインや茶托づくり、②空葉莢と木材を使ったペン立てなどのオンリーワンのクラフトづくり	 

○活動プログラム全体

当財団の職員が、これまで培った野外教育やスポーツ指導等の経験・ノウハウを最大限に活かして、全体の運営を行う。

また、キャンプカウンセラー(当財団職員)をリーダーに、児童教育・自然学習の指導者志望の学生スタッフが指導をサポート。実践を通じて、学生スタッフの経験・ノウハウの育成も図る。